



シマダヤグループ環境マネジメントシステム

シマダヤグループでは、「シマダヤグループ環境基本方針」のもと中期環境目的・目標を掲げ、それを達成させるために、各部内で業務に沿った目的・目標を設定し取り組んでいます。

シマダヤグループ環境基本方針

環境理念

小麦とそばと塩と水。「めん」は自然の恵みそのものです。シマダヤグループは、自然環境と企業活動の調和の重要性を認識し、めんを中心とする事業活動を通して環境保全に取り組み、健全で豊かな社会の実現に貢献します。

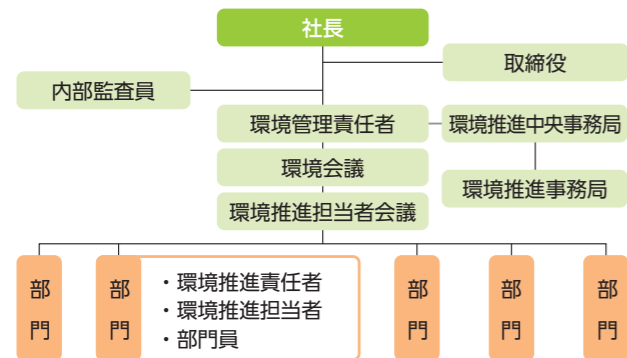
環境行動指針

- 1.環境関連法規の遵守**
社会の一員として環境保全に取り組み、環境関連の法規制その他の要求事項を遵守します。
- 2.資源、エネルギーの有効利用**
資源、エネルギーの節約、有効利用に取り組むとともに、廃棄物の削減、再資源化により環境への負荷の低減に努めます。
- 3.継続的な環境改善**
事業活動のあらゆる面において環境に配慮し、絶えず見直し、継続的な改善に努めます。
- 4.環境保全意識の醸成**
情報収集及び教育を積極的に行い、従業員一人ひとりの環境に対する意識の向上に努めます。
- 5.情報の公開**
環境基本方針及び環境保全活動に関する情報を広く社内外に開示します。

2004年1月19日制定
2008年6月25日改訂

シマダヤ株式会社 代表取締役社長 **木下 紀夫**

環境推進体制



活動の推進役と役割

全社の推進役	社長	全社の活動の最高責任者 (シマダヤの代表取締役)
	環境管理責任者	全社の活動の責任者
	環境推進中央事務局	環境管理責任者の補佐
部門の推進役	環境推進事務局	環境推進責任者、環境推進担当者の補佐
	環境推進責任者	部門活動の責任者 (活動の単位の部門長、グループ会社は工場長)
	環境推進担当者	部門活動のリーダー

※部門単位で活動を推進しており、環境マネジメントシステム上では、グループ会社は工場単位で1つの部門として活動しています。

シマダヤグループ中期環境目的方針(2016年度～2018年度)

グループ全体方針 「安全・安心、環境に配慮した商品で、おいしい笑顔をお届けします」
～一人ひとりが、仕事や生活の中で環境のことを考えた行動をします～

- 生産・物流、工場部門方針** 資源・エネルギーの有効利用と廃棄物(スープ、具材、原料を含む)を低減する生産をします
- 営業、企画・研究開発部門方針** 有益な環境影響(健康、簡便、安全・安心等)をもたらす商品の開発・拡売をします
- 管理部門方針** 有益な環境影響(省エネ、社会貢献、教育活動、リスク低減等)をもたらす活動の実行により、企業の社会的責任を果たします

▶ 中期環境目的・目標 2018年度取り組み報告

重点テーマ1 廃棄物(スープ、具材、原料を含む)の削減

対象部門	中期環境目的	2018年度実績
全グループ工場	廃棄物(スープ・具材・原料を含む)の削減 (2014年度原単位比で18.1%削減)	● 計画的な設備保全や定期的なメンテナンス実施の効果はあったが、設備トラブルや人的ミスが発生し、廃棄物が発生した。
生産・物流部門	廃棄物(スープ・具材を含む)の削減 (2014年度重量比15.0%削減)	● 営業とのコミュニケーションや生販会議、天候変化への対応に注力したことにより廃棄物を削減した。

重点テーマ2 有益な環境影響(健康、簡便、安全・安心等)をもたらす商品の開発と拡売

対象部門	中期環境目的	2018年度実績
営業部門	有益な環境影響(健康、簡便、安全・安心等)をもたらす商品の拡売	● 健康、簡便価値商品の店頭での下段展開や販促物設置等により認知・拡売した。 ● 人手不足による簡便志向への高まりに対し、展示会等で提案し、拡売へ繋がった。
企画・研究開発部門	有益な環境影響(健康、簡便、安全・安心等)をもたらす商品の開発と拡売	● 「流水麺」の賞味期限延長や、機能性表示食品の開発を実施した。 ● 「流水麺」の店頭販促物や業務用メニューBOOKを作成し、商品の拡売に繋がった。 ● 生産工場においてFSSC22000に基づく適切な運用を推進した。

重点テーマ3 有益な環境影響(省エネ、社会貢献、教育活動、リスク低減等)をもたらす活動の実行

対象部門	中期環境目的	2018年度実績
管理部門	有益な環境影響(省エネ、社会貢献、教育活動、リスク低減等)をもたらす活動の実行	● 新たなシステムを導入し、業務の効率化やミスの削減、紙の削減を実現した。 ● 業務マニュアルを作成し、業務管理におけるリスクを低減した。 ● 新入社員や新任管理職、内定者に対し環境教育を実施した。

廃棄物の削減に取り組んでいます

「流水麺」冷し中華の賞味期限延長による食品ロス削減

店頭や家庭での商品廃棄を削減するために、商品の賞味期限延長に取り組んでいます。

2018年度は、独自の技術や配合、製造現場における衛生管理向上によって、「流水麺」冷し中華を消費期限6日間から賞味期限10日間へ延長しました。また、「流水麺」冷し中華は「スープでほぐすだけ」で食べられるため、より時短になるとともに、家庭での水使用量削減にも貢献しました。

生販会議の実施

商品の過剰生産、過剰在庫を抑制するために、生産物流本部と営業本部で生販会議を実施しています。

生販会議では直近の生販状況や在庫量の共有、見込みと対策等を議論しています。また、商品だけでなくスープや包材等の在庫状況も共有し、原材料・資材の廃棄抑制にも努めています。

取り組み事例



研究開発部 増井 寛将

品質維持を前提とした賞味期限延長の実現は難しいテーマでした。ラボ検討からライン導入まで約1年を費やし、非加熱喫食の「流水麺」に必要な食感維持技術の見直しおよび保存性確保に向けた新製法導入を実現することができました。これからは賞味期限延長に挑戦し続けるとともに、店頭および家庭だけでなく、工場・倉庫を含めた全ての過程での食品ロス削減に貢献して参ります。



生産企画部 山崎 正志

天候によって数量が左右し生産予測の仕組み化が難しく、また時間毎に注文状況を管理するため、属人化になりがちですが、担当者の予測に加えて、毎週末に部内メンバーで生産予測をたてて取り組んでいます。引き続き、生販会議を通して、欠品のない生産体制と同時に廃棄物削減に努めて参ります。

環境に配慮した商品開発に努めています

段ボールの使用量削減

商品に使用するトレーや包材、段ボールの使用量を削減し、環境への影響を低減する取り組みを進めています。

2018年度は「流水麺」等の家庭用チルド商品を中心に段ボールの材質変更及び段ボールサイズの削減に取り組ましました。また、資材使用量の削減だけでなく、CO₂発生量の削減も実施しました。

取り組み事例



研究開発部 池田 斐太

2019年春夏家庭用チルド商品を中心に段ボールサイズを変更し、トータル使用量を削減しました。今回の取り組みにおいて、段ボールへの入れ方変更やサイズ適正化に努め、段ボールつぶれおよび物流効率も改善しました。サイズ適正化に伴う破袋リスクや機械適性を踏まえ、工場や関係部門と連携して実現することができました。

2018年度「社会・環境活動表彰」

2012年度より、従業員一人ひとりの社会・環境活動に対するモチベーションの向上を目的として「社会・環境活動表彰」を実施しています。2018年度の活動においては、グループ全体で37件のエントリーの中から、6件が

表彰され、2019年7月の環境会議で表彰式を行いました。シマダヤグループは引き続き、身近な取り組みをはじめ、グループ全体に広がりのある社会・環境活動の活性化を図ってまいります。

2018年度 「社会・環境活動表彰」

	表彰者	活動内容
1	経営企画部 SPAチーム	ペーパーレスシステム導入によるロスの削減
2	お客様相談室	企業訪問学習の受け入れによる継続的なキャリア教育及び食育活動の実施
3	システム部	web会議システム導入による業務効率化
4	シマダヤ関東(株)東京工場 総務部・製造部	国内交流事業見学の受け入れによる継続的な食育活動の実施
5	シマダヤ西日本(株)岐阜工場 製造部	社会科見学の受け入れによる継続的な食育活動の実施
6	シマダヤ東北(株)郡山工場 製造課	製造工程における廃棄物の削減

環境研修を実施しています

シマダヤグループでは、従業員に対する環境研修を実施しています。

2018年度は新入社員研修にて、環境活動に取り組む意義やISO14001・シマダヤグループ環境取り組みの仕組み、社会・環境活動の取り組み例を説明しました。

また、環境推進担当者研修では、環境推進担当者の役割の他、廃棄物処理法・食品リサイクル法といった基本的な法律の要求事項を共有しました。

その他、新入社員フォローアップ研修や、環境推進担当者・事務局員合同会議、内部監査員研修、新任管理職研修等を実施し、グループ全体での環境取り組みを推進しています。

ISO14001:2015の登録更新が承認されました

シマダヤグループでは、2003年より環境取り組みを開始し、2004年にシマダヤとシマダヤ関東(株)東京工場でISO14001の登録審査を受け、審査登録されました。その後順次適用事業所を拡大し、2019年9月現在でシマダヤ(株)及びグループ会社3社12工場が登録範囲となっています。

2018年度は生産子会社再編によるEMS文書変更や法

規制関連書類の見直し・提出がありましたが、各部門にて適切に対応し、更新審査の結果、ISO14001:2015の登録更新が承認されました。



▶ ISO14001適用事業所はシマダヤグループ概要(P.4)をご覧ください。

2019年度から新たな中期環境目的方針(2019年度～2021年度)に取り組んでまいります。

グループ全体方針

「安全・安心、環境に配慮した商品で、おいしい笑顔をお届けします」
～一人ひとりが、仕事や生活の中で環境のことを考えた行動をします～

生産物流本部方針

廃棄物(スープ、具材、原料を含む)の削減と有益な環境影響(省エネ・省資源等)をもたらす活動をします

営業本部・開発研究所方針

有益な環境影響(健康、簡便、安全・安心等)をもたらす商品の開発・拡売をします

管理部門方針

有益な環境影響(業務の生産性向上、環境教育の推進、コンプライアンスの徹底等)をもたらす活動をします